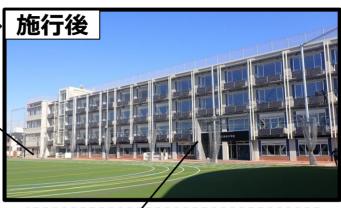
## 校舎の老朽化対策により、安全 性及び機能的な環境を向上する (東京都北区)

事業者:東京都北区











公立小中学校施設の老朽化対策 対策名:92



1-1) 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の 主たる施策グループ: 死傷者の発生

事業名:長寿命化改良事業

校舎全体の老朽化対策を実施 ポイント 🖝

災害時の施設被害を防止し児童・生徒・教職員の安全を確保する とともに、避難所としての機能を大幅に向上

## 地域の概要・課題

区が保有・管理する建築物の総延床面積のうち、学校 教育系施設が占める割合は4割を超え、このうち公立 小中学校については、約7割の施設が築40年以上を 経過しており、老朽化による安全面での不具合が発生 しているほか、災害発生時の事故等のリスクが高まって います。このため、長寿命化改良事業により、トータルコ ストの縮減や財政負担の平準化を図りつつ、着実に老 朽化対策を進めていくことが喫緊の課題となっています。

## 事業の概要

東京都北区において、老朽化した公立学校施設につい て、将来にわたって長く使い続けるため、建物全体の耐 久性の向上および機能や性能の向上を実施しました。 あわせて、バリアフリー化の推進やエコスクールの推進など 機能的で使いやすい地域拠点としての整備を行ってい ます。防災機能の充実として、屋内運動場には空調や 太陽光パネルからの電力供給を可能とした設備やス ロープの設置を行ったほか、屋外にはマンホールトイレや かまどベンチ、非常用発電機を設置するなど、避難所と しての機能の拡充を図りました。

## 見込まれる効果

構造体の劣化対策やライフラインの更新などにより、 建物の耐久性や安全性が高められるとともに、バリア フリー化や防災機能の充実等により、災害時の避難 所(地域拠点)としての機能が大幅に向上しました。

